

松前町

議会だより

No.114

2022年8月1日発行

愛媛県伊予郡
松前町議会

6月定例会



初めて本会議場でタブレット端末を使用

P 3 まさき音頭会場変更を撤回!?

P 6 「松前町議会に関するアンケート」集計結果

P10 一般質問 **4人が町政を質す**

松前町
議会中継
[録画]



6月定例会に提出された議案は、以下のとおりです。

可決

議案番号	議案内容
22	地方税法等の一部を改正する法律が公布され、令和4年4月1日から施行されることに伴い、 松前町税条例の一部を改正する必要があるため、専決処分しました。(承認)
23	地方税法施行令等の一部を改正する政令が公布され、令和4年4月1日から施行されることに伴い、 松前町国民健康保険税条例の一部を改正する必要があるため、専決処分しました。(承認)
24	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う介護保険料の減免について、被保険者の経済的負担軽減のため早急を実施することに伴い、 松前町介護保険条例の一部を改正する必要があるため、専決処分しました。(承認)
25	伊予市・伊予郡養護老人ホーム和楽園指定訪問介護事業所の指定期限の満了に併せて事業を廃止することに伴い、事務手続に要する期間を踏まえると議会を招集する時間的な余裕がないため、 伊予市・伊予郡養護老人ホーム組合規約変更を専決処分しました。(承認)
26	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するとともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や子育て世帯の支援を行うための経費が緊急に必要となったため、 令和4年度松前町一般会計への補正(1回目)として1億5863万4千円の増額を専決処分しました。(承認)
27	新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受けている地域経済や町民の生活を支援するための経費が緊急に必要となったため、 令和4年度松前町一般会計への補正(2回目)として2200万円の増額を専決処分しました。(承認)
28	新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者等に対する傷病手当金の支給及び新型コロナウイルス感染症の影響に伴う国民健康保険税の減免について、経済的負担軽減のため早急を実施することから、 令和4年度松前町国民健康保険特別会計への補正(1回目)として34万円の増額を専決処分しました。(承認)
29	令和4年度松前町介護保険特別会計への補正(1回目)は、歳入歳出ともに合計額の増減はないが繰入先変更のため、専決処分しました。(承認)
30	人事院規則の改正趣旨に鑑み、非常勤職員の育児休業及び部分休業の取得要件を緩和するとともに、育児休業を取得しやすい勤務環境の整備に関する措置を講じるため、 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正します。
31	地方税法等の一部を改正する法律により地方税法の一部が改正されることに伴い、個人住民税の住宅借入金等特別税額控除の延長等を行うほか、税負担の公平性の観点から整理合理化を図るため、 松前町税条例等の一部を改正します。
32	国民健康保険税の負担の適正化を図るため、 松前町国民健康保険税条例の一部を改正します。
33	土地改良法により、 土地改良事業(町営東古泉地区及び昌農内地区かんがい排水事業)を施行します。
34	まちづくり将来像の5つの基本施策を具現化する一方、白鶴保育所改築スケジュール変更による町債(2億7100万円)減額等により、 令和4年度松前町一般会計への補正(3回目)として2731万3千円を減額します。
35	職員の異動等による給与等の減額により、 令和4年度松前町国民健康保険特別会計への補正(2回目)として794万6千円を減額します。
36	令和4年度松前町後期高齢者医療特別会計への補正(1回目)として2万3千円を減額します。

37	職員の異動等による給与等の減額により、令和4年度松前町介護保険特別会計への補正(2回目)として455万6千円を減額します。
38	(仮称)松前町浄水場整備事業工程の見直しにより、令和4年度松前町水道事業会計への補正(1回目)として2億2400万円を減額します。
39	まさき夏祭りにおけるまさき音頭の会場変更(『松前公園多目的広場』→『恋泉通り』)を計画していたが、従来通り『松前公園多目的広場』で実施することになったため、令和4年度松前町一般会計への補正(4回目)として518万3千円を減額します。

報告された案件は、以下のとおりです。

報告番号	報告内容
1	令和3年度一般会計から令和4年度へ、近接工事との調整に時間を要した等の理由により、2億6125万1千円を繰越すこととなりました。
2	令和3年度下水道事業会計から令和4年度へ、他工事との調整に不測の日数を要した等の理由により、1億7320万円を繰越すこととなりました。
3	令和2年度下水道事業会計から令和3年度へ繰越した繰越額のうち1430万円を令和4年度へ事故繰越しすることになりました。
4	令和3事業年度松前町土地開発公社決算は、資産6692万8千円、負債5262万5千円、資本1430万3千円になりました。

まさき夏祭り・まさき音頭会場「恋泉通り」への
変更を撤回し、補正予算案提出

(○:行政 ●:議会)

2月22日 議員全員協議会

○まさき音頭会場「恋泉通り」に変更すると説明

○商工会に会場を変更すると連絡済
●安全面・変更に伴う増額(従来の会場での実施と比べて)について質問し、それらの点を再度検討するよう要請

3月10日 予算決算常任委員会

○検討したものを中心に説明した上で、会場を「恋泉通り」に変更したいと要望

●安全面・変更に伴う増額について質疑・意見等、慎重に審査

3月14日 予算決算常任委員会

●この事業を含めた令和4年度予算案を可決

★5月28日、議長に実行委員会の反対により会場変更を撤回するといふ情報が入り、行政に説明を要請

6月2日 議員全員協議会

○会場変更撤回を説明

○この時に分かった事実
・実行委員会の合意を得ることなく提案

・5月27日、実行委員会では、会場変更賛成35%、反対65%

○そこで、変更を撤回し、従来どおりの会場にするとの説明

●「会場変更は議会で認められたため、今年のまさき音頭は『恋泉通り』で実施してほしい。今年、実施して問題があったならば、従来どおりの会場に戻す」と、実行委員会に要望すべきではなかったか。

6月20日 本会議

○会場変更は町民からの要望でもある。予算化する前に実行委員会で審議すべきであったが、コロナの影響によりできなかった。しかし、予算化していないと会場変更ができないため、会場変更を決定し、予算化した。

○実行委員会、議会の議決を得ているため会場変更を要望したが、実行委員会の反対により会場を従来の場所へ戻すことになった(夏祭りに関する決定権は実行委員会)。

○会場変更撤回に伴う減額であるが、補正予算を議案に。

予算決算

4回目のコロナワクチン接種に必要な経費及び白鶴保育所改築の工期変更に伴う減額予算などを可決

一般会計補正予算

◎総務部所管

問 時間外手当が削減出来ていないが、職員に負担がかかりすぎていないのではないかと。職員を増やすなど効果的な対策は。

答 時間外の増加はあるべき姿ではない。正職員の増等考えながら可能な限り抑制していきたい。

問 庁舎空調設備改修工事設計委託料は、当初予算に計上していない。なぜ補正になったのか。

答 当初予算では、設計業務を発注する前に現状調査等を行うための調査委託料を計上していた。調査が終了したため、補正予算で設計業務委託料を計上した。

◎産業建設部所管

問 担い手総合支援事業で、昨年比べ個人が1人減ったにもかかわらず、事業費が約450万円増額しているが要因は。

答 毎年、対象者と対象となる機械・設備が変わることにより、金額が変わるためである。

意見

以前の委員会での質疑の中で、機械を購入することにより、経営改善が図られ、省力化、所得向上を数字的に検証すると聞いている。費用対効果と事業評価の検証も進めること。

問 町道西181号線舗装補修工事について、二級河川、国近川の堤防を利用して町道の工事であれば、県から補助金が交付されるのでは。

答 県の河川用地を無償で借りており、工事費に関しては県の補助金という制度はない。

問 町道西74号線歩道設計業務の内容及び概算工事費は。

答 踏切拡幅をするため土川を暗渠構造にする必要がある。
伊予鉄道と協議をした結果、土木工事は本町が実施し、軌道や電気工事は伊予鉄道に委託することになった。

工事金額は、設計後の算定になるが、1億円程度かかる見込みである。

問 夏祭り運営支援事業の減額補正について、予算減額後に補助金の増減はあるのか。

答 実行委員会の事業に対し行政が補助金を交付し、寄付金との二本立てで事業の経費ができています。仮に寄付金が多った場合は実行委員会として次年度に繰り越すようになっていく。

問 令和4年度の実行委員会の予算のうち、50万円が寄付金となっているが、この額は確定しているのか。

答 商工会が目標としている金額である。目標額は達成すると見込んでいる。



3年ぶりの夏祭りを盛大に！

◎保健福祉部所管

問 保育所費の給料が75万円減額ということは、職員が1人減ったのか。

答 当初予算は、1月1日現在の職員数44人で計上し、6月補正予算では人事異動後の職員数42人で計上している。職員2人減に伴う人件費の減である。

意見

職員数を把握しておけば面談時に、この人数で大丈夫か、という質問内容になる。担当課として、子どもの数を含め、職員数の把握をしていただきたい。

問 「まさきーい」と「見つけ隊」町民交流促進事業が、人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業交付金交付事業として採択されたが、この補助金は来年度以降も交付されるのか。

答 今年度から事業名を変えて募集があった。来年度以降も公募はあると思われる。

意見

「まさきーい」と「見つけ隊」は観光を含め、本町の魅力を町内外に発信しており、成果を出していると思う。今後も、事業促進に向けて事業者の取組をサポートしてほしい。



令和5年7月供用開始に変更された白鶴保育所改築

問 白鶴保育所の工期変更による予算の減額について、開発許可や建築確認が取れず、工期が遅れるとのことだが、設計の段階で分かるのではないか。

答 設計の段階で2月末に設計士が気付き開発許可等が必要になることが判明した。

当初の予定どおり5月の入札に間に合わせようとしたが、結果的には開発許可に係る県の審査会が5月末の開催となり、入札の時期を変更せざるを得なくなった。

意見 もう少し綿密な計画を立て、相談をしながら進めてほしい。

問 HPV(ヒトパピローマウイルス)ワクチン接種について、国から積極的な勧奨を再開する旨の通知があった、ということだが、全額一般財源である。国から補助はないのか。

答 補助という形の措置はされていない。ただし、交付税措置で対応してもらえるという確認は取っている。

総務産業建設

問 育児休業等を行う労働者の福祉に関する法律が令和4年4月1日施行された。この条例の施行日は7月1日でよいのか。

答 4月1日施行が一番望ましいが、本町は処理の都合上、7月1日となっている。

問 改正後の条例第22条に相談体制の整備とあるが、法律があっても、条例が制定されなければ職員には適用できない。相談したくてもできず、職員の権利を3か月間奪うことにはならないのか。

答 3か月間対象者はいなかったため、問題はないと考えている。

問 対象者がいなくても迅速に改正し、いつでも適用できるようにすることが望ましいのではないか。

答 今後、可能な限り迅速な対応を取るようにしたい。

問 勤務環境の整備に関する措置の、職員に対する研修、相談体制の整備、勤務環境の整備等の具体的なガイドラインはあるのか。

答 職員に関する研修等は今後行うことを考えている。それ以外の相談体制については既に行っており、新たに作る予定はない。

問 育児休業に係る研修を実施するが、対象者は。

答 育児休業を取りやすい環境を整備していくという観点から、管理職に対し研修を行いたい。

意見 管理職が改正の内容を理解していなければ相談できない。しっかりと研修すること。

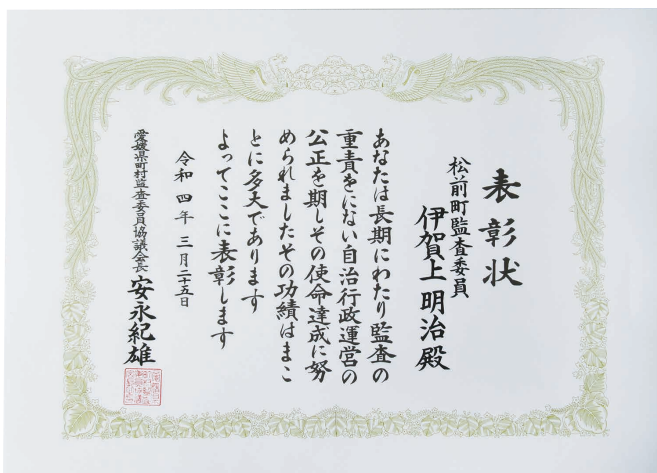
また、周知というのは対象者だけでなく、全職員に対して行わなければならない。取得を控えさせるようなことは認められないことを全職員に周知徹底し、取得しやすい環境を目指してもらいたい。

伊賀上議員表彰

伊賀上明治議員は、平成27年9月から松前町監査委員を務められています。

この長期にわたる功績をたたえ、愛媛県町村監査委員協議会より表彰されました。

おめでとございます。



松前町議会に関するアンケート調査 集計結果

調査方法

調査対象 満18歳以上の町民

調査方法 「議会だより」折込み及び松前町ホームページでのアンケート調査票

調査期間 令和4年2月1日～令和4年2月28日

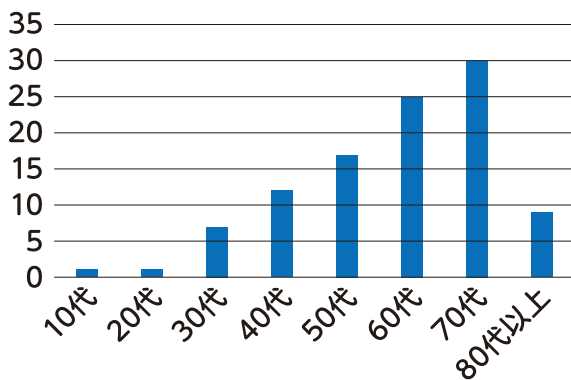
調査回収状況

回収数102(アンケート用紙：74・ホームページ：28)

集計結果

(グラフ中の単位は全て「人」)

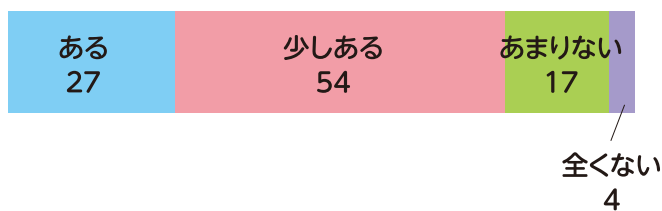
問1 あなたの年齢は。



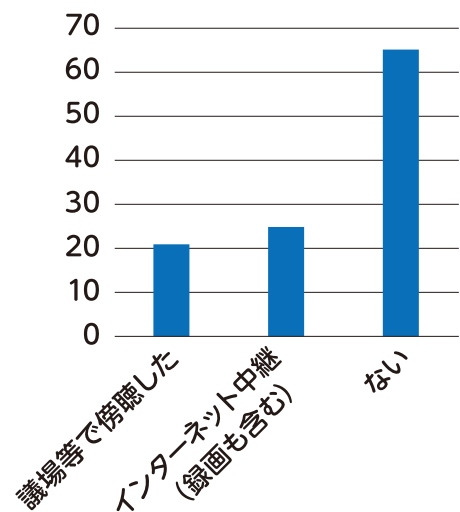
問2 あなたがお住いの校区は。



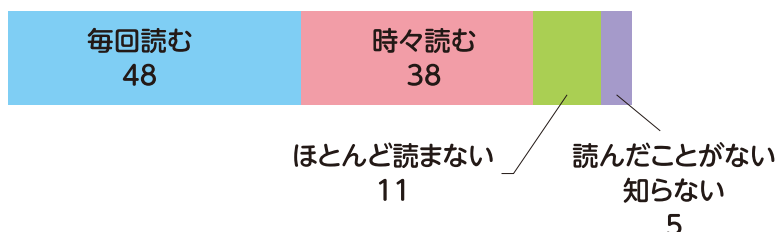
問3 町議会に関心がありますか。



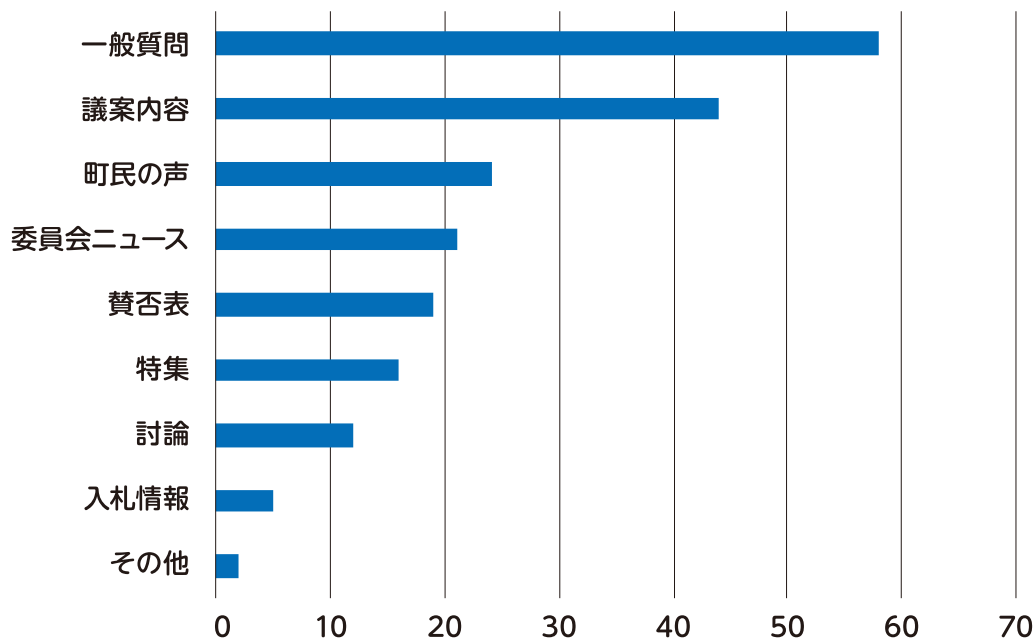
問4 町議会の会議を見たことがありますか
(複数回答可)。



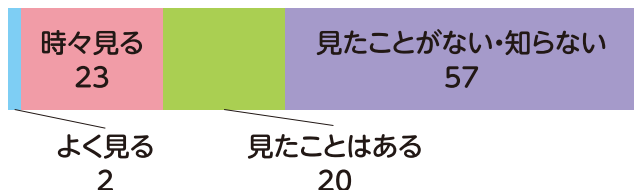
問5 議会広報紙「議会だより」を読んだ
ことがありますか。



問6 問5で「毎回読む」「時々読む」を選択された方にお聞きします。
議会広報紙「議会だより」で興味のある内容はどれですか（複数回答可）。



問7 町議会ホームページを見たことがありますか。



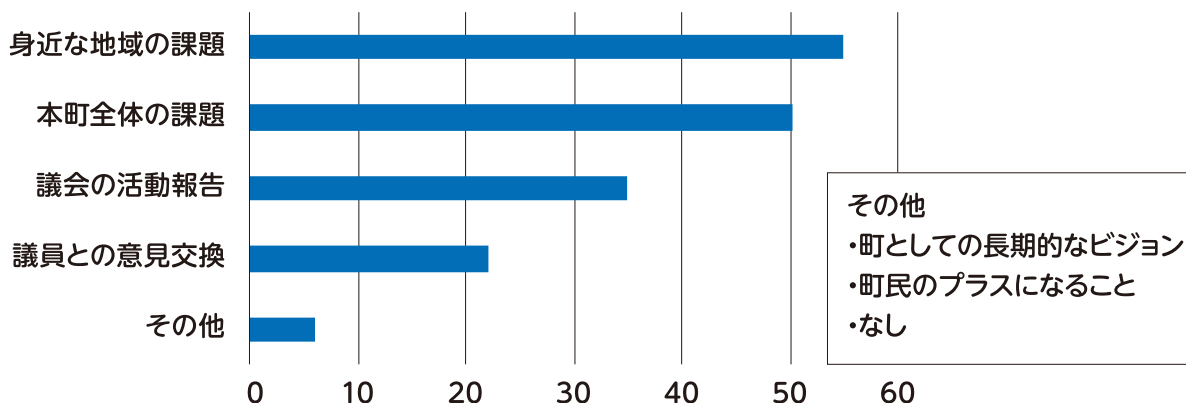
問8 議会報告会を知っていますか。



問9 問8で「知っている」を選択された方にお聞きします。議会報告会に参加したことがありますか。



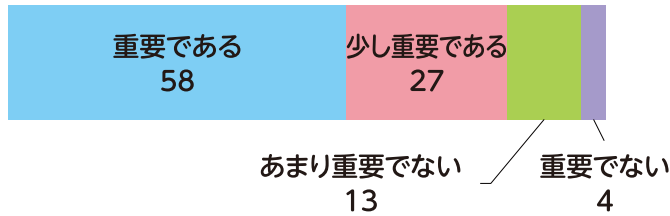
問10 どのような内容の議会報告会を望みますか（複数回答可）。



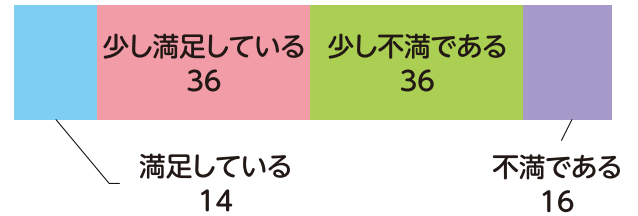
問11 議会の果たすべき役割といわれる、以下の項目A～Dについて、どのくらい重要だと思いますか(重要度)。また、町議会はその役割を果たしているか、どのように感じますか(満足度)。重要度・満足度それぞれについて、あなたの考えに最も近いものを選んでください。

A 町長や行政に対するチェック

【重要度】

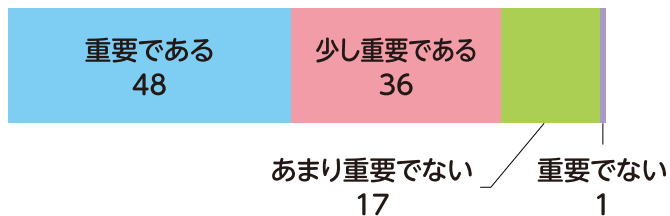


【満足度】



B 条例の制定・政策提言

【重要度】

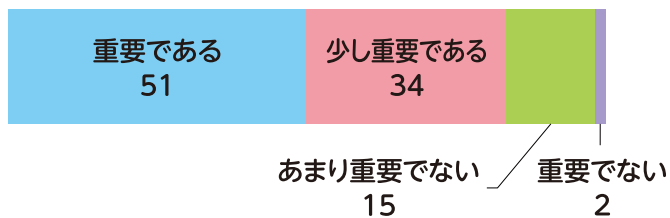


【満足度】



C 町民意見の町政への反映

【重要度】

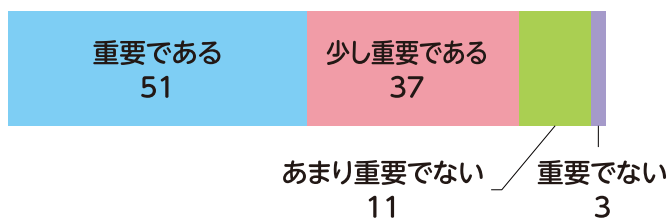


【満足度】



D 町民への説明責任・情報提供

【重要度】



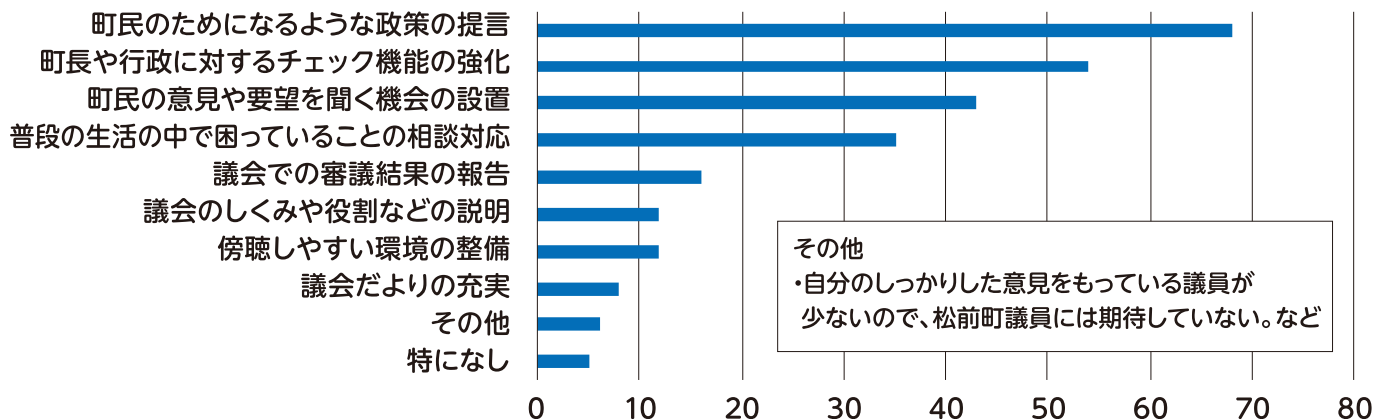
【満足度】



問12 現在の町議会を総合的に評価できると思いますか。



問13 町議会や議員に何を期待しますか（複数回答可）。



問14 町議会や議員への意見や要望、また、行政に聞いてほしいことなどがあれば自由にご記入ください。

- 【議会】
- 町長の意志に追従する議員だけではだめ。「町長べったりの議員」は不要である。
 - 議員定数削減を願う。
 - 「義農大賞」私の周りの人はほとんどが反対だった。町民の声が議会に届いているのか。
 - 若手や少数意見をきちんと反映してほしい。
 - 議員の方から要望を聞く機会を設置したがるのが本来の姿だと思う。など

今回、初めて「松前町議会に関するアンケート」を実施したが、回収数が少なかった。その原因は、

- 町民の皆さんは議会活動にあまり関心をもたれていない。
- 調査期間が新型コロナウイルス感染症拡大防止により、公民館の利用停止時期であった。などが考えられる。

「行政に聞きたいこと」など
詳細はアンケート集計結果へ



今後、アンケート結果を分析し、町民の皆さんから議会活動により関心をもってもらえるよう、広報活動の充実など、積極的に図っていきます。

影岡 俊範 議員 (11ページ)



- ◆ 小学校教育の「教科担任制」の導入の現状及び今後の見通しは。
- ◆ 行政の情報発信等でLINE活用の考えは。
- 地方公共団体における情報システムに対する町の現状は。

伊賀上 明治 議員 (11ページ)



- ◆ 成人式の今後の予定は。
- ◆ 「義農大賞」事業の検証は。
- 新型コロナウイルス感染症に対する町民への意識啓発と財政対策は。

一般質問

4議員が登壇

藤岡 緑 議員 (10ページ)



- ◆ 学校給食の食材の安全性及び食材価格の高騰に対する町の考えは。
- ◆ 町営住宅老朽化の対策は。
- 町民企画講座の在り方は。

曾我部 秀司 議員 (10ページ)



- ◆ 姉妹都市健康交流事業の実施期間案決定までの経緯は。



藤岡 緑 議員

問 学校給食の食材の安全性は。

答 主食米は、必要量確保のため令和元年より、減農薬米から本町産の安全性に差がない一般普通栽培米を使用している。他の食材については、食品の検収・保管等の基準に基づき産地を確認しており、令和3年度の使用率は県内産85.1%、国内産は100%である。今後とも生産者の顔が見える安全安心で新鮮な地場産物の活用を進めていく。

問 食材の価格高騰で給食費は。

答 令和2年度は経済対策として、牛肉・マダイ・ブリの無償提供を受け価格の影響を最小限にすることができた。今年度は小麦等の穀物価格が高騰し、給食費の維持が難しくなってきた。給食費の値上げも視野に入

れながら、コスト削減のための方策や支援を検討していく。

意見

子どもたちに影響がないよう、安全性を担保しながら、保護者負担が大きくなるような支援を望む。



育ち盛りは食べ盛り！

問 老朽化が進んだ町営住宅のリノベーションは。

答 125戸の木造住宅は、老朽化が進み、居住性や設備機能が満たされていない。公営住宅等の計画的な整備を行う中で、居住面積が狭小で耐用年数を超過した木造住宅のリノベーションは困難と判断し、建替えを行う。

問 ウクライナ避難民への町営住宅提供は。

答 2戸ある旨を県に報告。要請があれば速やかに対応する。



曾我部 秀司 議員

問 7月・8月は1年の中でも最も熱中症リスクが高いため、実施期間を変更すべきと以前に意見した。この姉妹都市健康交流事業の実施期間案決定までの経緯は。

答 ①昨年9月に本町からまつまえ町に健康づくりをテーマとした姉妹都市交流を提案。両町で協議し、3か月ウォーキング事業を行うことに。

②ウォーキング競争の表彰式を本町の健康フォーラムを利用することに決定。これは、両町長出席の下、大勢の町民が見守る前で表彰を行うことで、受賞者にとっては晴れ舞台となり、町民に対しても健康づくりのアピールにつながると考えたため。

③健康フォーラムの開催時期は、い

ろいろな行事等を勘案し、10月が最適だと判断。

④ウォーキングの実施期間は、まつまえ町から4月下旬から5月中旬を除いてほしいとの要望があり、記録集計と表彰式準備に1か月を要することから、両町で協議した上で、最終的に6月から8月までが適当であると町長まで協議をして決定。

問 職員の中から私と同じくこの時期は熱中症リスクが高い、変更した方がよいのでは、という意見は出なかったのか。

答 結果発表の場を健康フォーラムとしていたので、職員の話合いの場で暑いという話は出なかった。

※姉妹都市健康交流事業の詳細については、「広報まきぎ5月号」P12を参照





影岡 俊範 議員

問 先行自治体では「教科担任制」で働き方改革と学力面の効果も出てると聞くが本町の現状は。

答 一部の教科についてその教科指導の専門性を持った学級担任以外の教員が授業を担当する制度を教科担任制という。

愛媛県下では30校に30人の定数以外の専科指導教員が配置され、本町では、岡田小学校に中学校の数学免許を持つ算数の専科指導教員を配置し、高学年の算数の専科指導を実施している。

文部科学省は、各地域や学校の実情に応じた取組が可能となるよう専科指導教員の配置を推進する方向であり、県教育委員会の動向を見ながら、教科担任制が拡充できるように引き続き専科指導教員の配置を要望していきたい。



問 「LINE公式アカウント」が無償化された。活用メリットとして

①地域の住まいの情報を素早く受け取れる。

②重要な情報を素早く確実に配信できる。

③緊急性のある情報の配信や相談窓口として効果を発揮できる。

LINEを住民サービスの向上と行政事務合理化のため活用を提案する。総務省が令和3年4月にLINEのガイドラインを作成している。

プッシュ型のツールとして非常に有効であると認識している。

ガイドラインを踏まえた上で業務内容に応じ、可能なものから前向きに導入を検討したい。

問 成人式の今後の方針は。

答 令和4年の民法改正により成年年齢が18歳に引き下げられたが、本町成人式の式典は従来どおり20歳を迎える学年の方を対象に実施する。ただ、「成人式」という名称は変更する必要がありと考えている。各方面からの意見を聞いて決定したい。

問 式典後、新成人に対して町長から不適切な発言があったと聞くが。

答 体育館前の広場にいた新成人に密を避けるため速やかな帰宅を喚起していたが、旧友との再会で一部の新成人が滞留していた。誰かに向けて言ったわけではなく『そんなにつつて死にたいのなら勝手に死んだらええわい。もう知らん』と発言した。これは独り言である。



「義農精神」の根本は？

問 義農大賞の費用は。

答 令和3年度は募集と審査、受賞者の動画の制作、表彰式の開催準備などで約867万円。

令和4年度は表彰式の開催に係る経費で会場運営・表彰式運営、情報発信費用、新作能「義農」の公演の出演料・旅費などで750万円。

問 事業の効果は。

答 様々なメディアを活用して情報発信を行ったことで、義農作兵衛や本町のことを知らない多くの人に情報が届いた。

意見

町のPRはしていただきたいが、町税は町民のために使ってほしい。能は誰のため？町民のためになったのか。能は町長自身の趣味であり、県の能の組織の役員でもある。血税を使って能を引っ張ってくることに町民は納得できるだろうか。

町民の声

本議会を傍聴して

筒井 匿名希望

久しぶりに本議会を傍聴させていただきました。

議会では、学校教育・文化的活動・福祉・健康事業・行政の情報システム・コロナ関連町政事業に関する検証等について、質疑応答が繰り広げられました。中には厳しい質問も出てきて、白熱した雰囲気の中で議論に、松前町をよ

り良くしようという熱意が伝わってきました。それぞれの立場で、それぞれの役割を果たしておられました。

松前町を住みやすい魅力ある町にしたいという目的は町長をはじめとする町政側の皆さん、議員さん、そして我々町民も同じです。本議会で議論される問題は、我々の身近なものです。私達も問題に對峙し、町政に町民の声を届けていく必要があると実感させられました。

『町民の声』をお寄せ下さい

次号議会だよりの掲載の締切りは8月末です。300字程度で必ず名前・住所・連絡先・ペンネーム(希望する場合)をお書きください。(投書多数の場合は、広報委員会で決定)

**【宛先】〒791-3192 松前町筒井631
議会広報常任委員会「町民の声」係
◆Fax 985-4148◆**

メールは、町のホームページからタイトルに「町民の声」と入力の上「議会事務局」へお送りください。

【次回定例会の予定】

8月30日(火)~9月20日(火)

一般質問 9月5日(月)

インターネット
配信やっています



タブレット端末導入!!

議員全員にタブレット端末が貸与された。紙媒体で配布されていた議案書等の資料を電子化することで、ペーパーレス及び業務効率化の推進を図ることなどを目的に、令和3年度に「新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を活用し導入された。

今後、議会への資料提供は基本的にデジタルデータで行い、タブレット端末で確認していく。



編集後記

今定例会より全議員へタブレット端末を配布し運用を開始した。

今後、紙資料とデジタルデータの両方で議会運営を行いながら、使用基準、運用方法、セキュリティ対策などの課題を整理し、スムーズな本格運用につなげたい。

(田中 周作)

議会広報常任委員会

委員長	稲田 輝宏
副委員長	曾我部 秀司
委員	住田 英次
委員	田中 周作
委員	影岡 俊範
委員	渡部 惠美
委員	西村 元一

